

単元名 2 視野を広げて ―思考のレッスン 具体化・抽象化
配当時間 1時間

単元の目標 (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。
 (3) 具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。

標準的な展開例

12210109_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 具体と抽象の関係について理解する。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 具体と抽象の関係について理解しよう。 ○ 教材文(p.50)を通読する。 ○ 下段の問題1に取り組む。 ○ 教材文(p.51)を通読する。 ○ 下段の問題2に取り組む。 ○ 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体と抽象の関係で捉えられるものや、具体と抽象の関係にある論理の展開の仕方について理解させる。 ・ 「抽象への展開を示す言葉」を活用させるとよい。 ・ まとめた文を互いに伝え合わせる。 【評】 具体例をまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体化と抽象化の程度について理解する。 ・ 「例えば」以外にも、「具体への展開を示す言葉」(p.50)を活用させるとよい。 ・ グループごとに、各自が作った具体例の具体化の程度を順序付け、全体に発表させる。 ・ 問題2の答えを付箋紙に書かせておくと、グループでの分類作業が効率的に行える。 【評】 具体化の程度を順序付ける活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章を読んだり書いたりするときには、具体と抽象の関係についてどんなことに注意すればよいか確認させる。

【 備 考 】

論説的な文章では、筆者の主張（抽象）に対して、複数の事例や根拠（具体）を挙げて解説している。文章における、具体と抽象の関係を捉え、筆者の論理の展開を評価しながら、筆者の主張を読み取り、人間や社会に対する考えを広げたり、深めたりさせたい。

また、スピーチの学習では、人々の価値観や行動に影響を与え、社会を変える力をもつスピーチの力を実感するとともに、社会生活の中から話題を決め、相手を説得できるように、話の構成や発表の仕方を工夫する中で、様々なことに問題意識をもち、社会に視野を広げさせたい。